よこはま型
若者自立塾

若者自立就労支援 X 石巻進化躍進応援

やっぺす通信発行元
K２インターナショナルグループ
・NPO法人ヒューマンフェローシップ
・うんめぇもん市
www.K2-inter.com/ishinomaki
Tel：045-762-1435（覚知・田上）

忘れないこと・続けること・進化すること

やっぺす通信 Vol.108

離れて
つながろう！

2020.11.1 発行

うんめぇもん応援団突撃インタビュー！ 応援ファイル No.85

横浜市経済局 雇用労働課　水口 章史 さん

今回は横浜市経済局
雇用労働課　水口 章史さんに
お話を伺います。

安田）水口様のお仕事について教えて下さい。

水口さん）経済局雇用労働課に所属しています。課内では「技能班」に属しており、課名からは想像しにくいかもしれませんが、技能職（いわゆる職人さんのお仕事）の振興を担当しています。技能職団体の活動支援、横浜マイスター事業、横浜市技能文化会館の管理運営などを行っています。

安田）Ｋ２（うんめぇもん市）との出会いについて教えて下さい。

水口さん）2012 年に都市整備局の都市デザイン室に配属になりましたが、都市デザイン室では、うんめぇ弁当を室内で取りまとめて注文していました。
最初は、石巻弁当を販売していると聞いて、東日本大震災の復興支援だと思っていました。都市デザイン室では、震災復興の寄付などに熱心に協力したと聞いていたので、その一環で、うんめぇ弁当も応援しているのだと理解していたのですが、ある時、都市デザイン室の同僚が、**「うんめぇ弁当には、若者の自立支援の意味もあるよ」**と言っているのを聞いて、どういう意味だろうと思って、いろいろ調べて、Ｋ２の活動のことを知るようになりました。

安田）うんめぇもん市もそうですが、若者自立就労支援の活動はまだまだ浸透していないところもありますので、皆様に知っていただけるように広めていきたいと思っています。毎月のお弁当のご注文の他、うんめぇもん市交流会や七夕イベントにもご参加いただきましたが、うんめぇもん市の活動についてご感想など教えて下さい。

水口さん）うんめぇ弁当は注文を続けようと思い、都市デザイン室の後、同じ都市整備局の景観調整課、その後、政策局、経済局に異動になりましたが、ひき続き課内でうんめぇ弁当の注文のとりまとめをするようになりました。そうしたら、石川町の『ころんぶす』での交流会や、羊鳴館での七夕祭りなど、いろいろなイベントの情報をもらったり、直接声をかけていただくようになりました。Ｋ２がどんな活動をされているのか興味があったので、行くようになりました。**行ってみて驚いたのは、Ｋ２のスタッフさんはもちろん、困難を抱えているはずの若者の皆さんが、本当に明るい、というか、生き生きとされていること。また、参加されているサポーターが、Ｋ２の取組を長年にわたり応援されており、多様な職種や立場の方々が集まってＫ２を応援している様は、感動的でした。**2018 年に行われた、Ｋ２の３０周年イベントでの宮本みち子先生のご講演も聞かせていただきましたが、うんめぇもん市を含め、Ｋ２が行ってこられた活動については、正直、凄いと思っています。これだけ社会的な意義が大きなことを、民間事業として、長年発展させながら、30 年以上も継続してこられたことは、本当にびっくりします。**今では「ソーシャル・ビジネス」という言葉がすっかり定着していますが、Ｋ２の取組は、まさにその先駆けだったと思います。**
人々の善意に頼るだけでなく、飲食などの事業で「稼ぐ」ことにも力を入れておられますが、それがなければ、いくら良い取組でも、長続きさせるのは難しいはずです。また、**「稼ぐ」ことは、若者の「自立」の鍵でもあります。その意味で、自立支援の実効性を追求された結果、必然的に「稼ぐ」ことも重視されるようになったのかもしれませんが、いずれにせよ、ピッタリはまっている感じを受けます。**

安田）ありがとうございます。Ｋ２内でステップアップができるようになって元気になった若者もたくさんいます。

安田）うんめぇもん市のお気に入りのお弁当や物産を教えてください。

水口さん）個人的に、肉より魚介類が好きなので、よく注文するのは、**石巻のり弁**や**金華鯖のシャキシャキおかかご飯**、**貝ひもの塩麹コロッケ**などです。
石巻焼きそばも、飽きのこない味で、ついリピートしてしまいます。

石巻のり弁　500円

石巻焼きそば　480円

安田）ありがとうございます！のり弁当はさんま、おかかご飯は金華鯖、確かにお魚が多いですね（笑）。

安田）最後に読者の皆さんへ一言、うんめぇもん市への応援メッセージをお願い致します。

水口さん）うんめぇもん市を含めたＫ２の取組が、市役所内外でもっと知られてほしいです。私自身も、うんめぇ弁当の注文とりまとめや、コロナが落ち着いてイベントが開催されるようになればその PR などを、もっと力を入れてやりたいと思います。また、私が担当している「技能職の振興」における後継者確保などもそうかもしれませんが、市役所の業務の中でＫ２の取組との連携できるものがある気がしますので、そのような可能性を考えてみるのもよいのではないかと思っています。**コロナの影響もあり、若者を取り巻く雇用状況などが厳しくなる見通しであり、Ｋ２の活動は一層重要になると思います。東日本大震災の復興支援もまだまだ必要とされています。SDGｓにもつながる話だと思いますが、社会全体が持続可能に発展するためにも、「ソーシャル・ビジネス」はますます大事になっていくと思います。その成功モデルとしても、Ｋ２の活動が今後も継続し、更に進化してくことを期待しています。**

安田）ありがとうございます。今後ともＫ２（うんめぇもん市）の応援よろしくお願い致します！！

うんめぇもん応援団突撃インタビュー！ 応援ファイル アーカイブ

～2013年3月よりスタートした「うんめぇもん市応援団突撃インタビュー 応援ファイル」を振り返り、抜粋してご紹介します～

応援ファイル No.55（2018年4月）
有限会社 でんぱた代表 鈴木 正美 さん

（抜粋）～K2の皆様には、震災後から社会復帰の一助とするため取り組んでいる矢祭町での農作業をきっかけに、矢祭米や野菜・加工品などの販売をいただき、震災で落ち込んだ産地状況に大きなエールを贈っていただきました。しかしながら販売環境は7年たった今でも依然として福島産農産物への風評被害が続いている現状です。ホームページや都市部への出張販売等を重ね、払拭とPRを続けております。～夏には、K2の学童の子ども達が「虫キャンプ」で矢祭に来てくれました。クリスマスフェスタで横浜に伺った時には、子ども達の「英語劇」の動作がたまらなくかわいかったです。スタッフの皆さまは大変でしょうけど、あの子ども達の笑顔で癒されていることと思います。「でんぱた」は、これからも皆さまと末永いお付合いが出来ることを心から願っております。お買いいただいている皆様に支持される農産物の生産販売にこれからも努力を続けて参ります。

応援ファイル No.58（2018年7月）
横浜市役所 副市長 荒木田 百合 さん

（抜粋）～平成17年にこども青少年局を立ち上げる仕事を担当していました。その当時は「ニート」とか「引きこもり」という事が少し話題になり始めた時期でした。新しい局を立ち上げるにあたり、既に実践をしている民間団体での取り組みを色々調べた中で、K2さんにたどり着いたのですね。当時の行政にはノウハウがなかったですので、K2さんと一緒に作ってきたというのが横浜の子ども・青少年局での青少年行政じゃないかと思っています。「なぜ引きこもりやニートになるのかを調べるよりも、今その人達に何ができるかを考えるのが先です」と言って頂いたのを覚えています。行政はすぐに原因追及をして課題を明らかにして解決しようとしますが、「まずできることをやってみて予防策を考える」という青少年行政の仕事の組み立て方につながっているのだと思います。

～人は、「必要とされている」、「自分が誰かの役に立つ」という経験が生きる力になると思います。さかのぼると阪神淡路大震災の時にも多くの若者がボランティアで現地に入り活躍しましたが、現地の助けになるだけでなく、活動した若者自身も元気になって、またそれが次につながっていったように思います。うんめぇもん市の活動はそれをもっと深く丁寧に、そして横浜で悩んでいる若者の支援に、そして現地での雇用にも繋げているというのが、とてもユニークで、またじっくり地元に根付かせているのが大切だし、すごいなと思います。必要としている人や地域課題と若者の力をマッチングするという一つの形が「うんめぇもん市」だと思うので、震災に限らず、限界集落の問題なども含めて色々なバリエーションが出てくるのかなと期待しています。困難を抱える若者というだけでなく、都会でセカセカと働く生活が合わないとか、自分のペースでじっくり働きたい若者にとっての基地にもなったらいいなと思っています。

応援ファイル No.64（2019年1月）
横浜市こども青少年局長 齋藤 聖 さん

（抜粋）～うんめぇもん市は、こども青少年局の事業でもある「よこはま型若者自立塾」の合宿でK2スタッフと若者たちが宮城県石巻市に被災地支援に行かれた際に、現地の海産物店の方と知り合ったことがきっかけで始まりました。震災から7年がたちましたが、復興はまだ道半ばです。そのような中で、「忘れないこと・続けること・進化すること」を合言葉に、うんめぇもん市を開催し続けていることは本当に素晴らしいことだと思います。

～うんめぇもん市は、被災地支援だけでなく、ひきこもり等の生きづらさを抱える若者の社会体験活動・就労訓練の場という目的もあります。これまでも、お弁当の調理や会場での販売を通して、多くの若者が元気を取り戻し、自立に向けた一歩を踏み出していきました。若者の皆さんが元気に活動していますので、周りの方にも声をかけていただき、多くの方に売り場に足を運んでいただきたいと思います。

応援ファイル No.67（2019年4月）
甲南大学 マネジメント創造学部教授 前田 正子 さん

（抜粋）～震災のあと、金森さんと一緒に石巻に行かせていただき、津波の破壊力のすさまじさと、なにもかも流されてしまった街の様子に息をのみました。それに対して東北の人たちが我慢強いことにも感銘を受けました。一方、その後、東北に行くたびに、沿岸部の若い世代が仙台に移り住み、もう戻らないと話す様子を見ていました。私は、震災前から首都圏の保育所や介護施設が東北の若い世代を職員として吸収していることを知ってはいましたが、震災がそれをさらに加速させたことを肌で感じています。今は全国どこでも震災が起こる可能性があります。そのたびにそこで再び暮らしていけるように住宅のみならず仕事の再建も重要です。石巻市は復興モデル市として頑張っていますのでうんめぇもん市が継続し、石巻の人たちへの支援が続いていることを知ってもらうと同時に、石巻産物の安定した販売先になるのが大きな貢献だと思います。

もっと読みたい方はこちらへ・・・ http://nw.k2-inter.com/ishinomaki/yappesu/

みえこガガの直伝レシピ

【 タラの とろろ昆布揚げ 】

[材料（2人分）]
タラ：250g　とろろ昆布：20g
下味（酒、すりおろし生姜）

○作り方
1）タラは一口大に切ります。
2）バットに1）を並べ下味の材料を入れ手でなじませ、ラップをかけて冷蔵庫で15分程おきます。
3）軽く汁気を拭き取った2）に、とろろ昆布を全体に巻きます。
4）揚げ油をフライパンの底から3cm程の高さまで入れ、170℃まで熱し3）を入れ、中に火が通るまで3分程揚げ、油を切ります。
★これから旬を迎える「タラ」にひと工夫。とろろ昆布が良いアクセントに！

タラの とろろ昆布揚げ

うんめぇもん市 開催スケジュール

（11月）		（12月）	
4日（水）戸塚区役所	10:00～14:00	2日（水）戸塚区役所	10:00～14:00
11日（水）南区役所	10:00～16:00	4日（金）栄区役所	10:00～14:00
13日（金）磯子区役所	10:00～16:00	8日（火）瀬谷区役所	10:00～14:00
16日（月）横浜市役所	10:00～14:00	10日（木）磯子区役所	10:00～16:00
18日（水）瀬谷区役所（物産のみ）	10:00～14:00	14日（月）横浜市役所	10:00～14:00
20日（金）栄区役所	10:00～14:00	17日（木）南区役所	10:00～16:00
25日（水）都筑区役所	10:00～16:00	22日（火）鶴見区役所	10:00～14:00
27日（金）神奈川区役所	10:00～14:00	23日（水）旭区役所（物産のみ）	10:00～15:00
30日（月）鶴見区役所（物産のみ）	10:00～14:00	25日（金）都筑区役所	10:00～16:00

～K2石巻だより～

梨木畑の花壇もすっかり秋模様。
コスモスもきれいに咲き始めました。